

質 問 回 答

2020年6月24日

「(案件名) 20a00176 全世界 2020 年度案件別外部事後評価：パッケージ I-5 (総合評価落札方式)」  
 (公示日：2020年6月10日／公示番号：20a00176) について、業務指示書に関する質問と回答は以下のとおりです。

通番号	当該頁項目	質問	回答
1	入札説明書 P24 3. 2 業務の実施方針等	項目のうち、(1) 業務実施の基本方針と (3) 作業計画／要員計画がありますが、(2) がない、もしくは、ずれが生じているようです。念のため、項目の漏れの有無(例：「課題に対する現状認識」の説明の有無等)を確認させていただければ幸いです。	該当する箇所の項番を以下のとおり訂正します。 <b>【訂正前】</b> (1) 業務実施の基本方針 (3) 作業計画／要員計画 (4) その他  <b>【訂正後】</b> (1) 業務実施の基本方針 (2) 作業計画／要員計画 (3) その他
2	入札説明書 P20 第3章. 1 技術提案書の構成	2章の(1) 課題に関する現状認識と(2) 業務実施の基本方針は、目安として、それぞれで5頁以下となっておりますところ、併せて10頁以下で構成することは可能でしょうか？	左記頁数は目安ですので、併せて10頁以下として構いません。
3	入札説明書 7ページ 第1章 10 (9) 7)	「連合」は「談合」のスペルミスでしょうか。	本稿での「連合」は「談合」と同一の意味です。
4	同 8ページ 第1章 11 (3)	予定価格はギニアへの渡航を前提としていますか。	本入札説明書で指示した業務を遂行するために必要な経費を全て含めて応札してください。本件はギニアへの渡航による現地業務を想定していますが、ギニアへの渡航を前提としない提案をさまたげるものではありませんが、その場合にはその理由と代替の提案の詳細を技術提案書に記載してください。

通番号	当該頁項目	質問	回答
5	同 15 ページ 第2章 2	簡易型評価は通常評価と異なる点は(18 ページに記載のある評価報告書のページ数以外に) ありますか。渡航回数は1回ですか。	現地調査は1回となり、2回目の追加調査、フィードバックは現地調査補助員を通じ、もしくは Skype 等オンラインでの実施となります。詳細は、別途配布している「簡易型外部事後評価についての考え方」2. 実施方針をご参照ください。
6	同 16 ページ 第2章 3 (2)	ギニアへの渡航ができないものと想定して、その分の業務量をプロポーザル内で国内作業に振替える提案を行うことは可能でしょうか。	想定される全体の業務量(現地・国内総計)の範囲内であれば、渡航を前提としない提案でも可能です。
7	同 23 ページ 第3章 2 7)	「ガーナ」は「ギニア」のスペルミスでしょうか。シエラレオネへの渡航はガーナないしギニア経由が想定されているのでしょうか。	23 ページの「2 7) その他 ・ 必要な現金(水上タクシー代及びガーナまでの航空券購入に必要な3,000 ドル程度)を確保する。」での「ガーナ」はガーナ経由を想定した場合ですが、シエラレオネへの本邦からの渡航はガーナ(アクラ)またはパリを経由地となります。本案件は価格競争もありますので、どちらを経由地とするかについては、当方から指定はしません。 なお、本業務対象の3案件の評価を2名以下で実施する際に、近隣国の陸路移動を提案される場合があると想定し、安全上の配慮が必要なため左記を記載していますが、治安上の懸念等もあるため、必ずしも陸路移動を指定しているわけではありません。
8	20 ページ 技術提案書の構成の「2 業務の実施方針等」の「(1) 課題に関する現状認識」	他の案件の特記仕様書では、課題とするテーマについて設定されていることが多いと思います。本件については、テーマが設定されていないようですが、特記仕様書に記載された内容全体に関連する課題の分析ということか、評価対象となる案件別の課題の分析のどちらでしょうか。	評価対象となる案件別の分析を基本としますが、簡易型評価による実施という観点等特記仕様書で定める事項を含めても構いません。

通番号	当該頁項目	質問	回答
9	経費に関して	安全対策費については、計上は可能でしょうか。	本案件においては危険地域での業務は想定していません。応募者において必要と判断される場合には、安全対策費として特に計上する経費を、その詳細理由とともに明確に技術提案書に記載の上、別見積もりにて提案することを妨げるものではありません（当方としては、衛星携帯電話代など、有事の際のみ使用をする経費を想定します）。この場合には応札額からは外して別見積もりとしてください。受注者がこの経費を提案していた場合には、当方でその要否を最終判断し、契約金額に含めるか否かを決定します。契約金額に含める場合には精算対象となります。また、有事でない平時の通常の業務の使用においても併用できる経費については本見積りにて計上してください。
10	資料に関して	シエラレオネ：配電網緊急改修計画（第一次、第二次）について公開されている資料を検索いたしましたが、第一次の事前評価表のみで、他の資料はないということでしょうか。	第一次の準備調査報告書は、以下のサイトで確認できます。 <a href="https://libopac.jica.go.jp/images/report/12056701.pdf">https://libopac.jica.go.jp/images/report/12056701.pdf</a>
11	17 ページ 4. 業務の内容（1）評価方針の検討、作成	「外部事後評価レファレンス（2020 年度）」と記述されています。いつ頃、発出される予定でしょうか。2019 年度版からどのような点が変更になっていますでしょうか。	2020 年度版外部事後評価レファレンスについては、夏頃の改定を見込んでおり、契約締結時に改訂版を配布いたします。なお、2019 年度版からの大きな変更点はありません。
12	入札説明書 P13-14 事後評価業務における排除者条項	対象事業の施工監理にあたり、施工業者の現地アシスタントとして参画した個人が本件の現地調査補助員となることはできますか？	排除条項は評価者を対象とした条項と整理しており、現地調査補助員はその対象としません。

以上